



コミュニティ・スクール 令和7年10月16日

吉原一中だより 特別号

校訓	「豊かな情操 高い知性 強い体位」
学校教育目標	「あこがれ チャレンジ 笑顔」
重点目標	「わたしも大切 あなたも大切」

平素より本校の教育活動へのご理解ご協力をいただきありがとうございます。4月に全国の中学生を対象に、「学力」と「学習状況」の調査が実施されました。この結果をもとに、本校生徒の特徴や傾向を分析しました。3年生は、「個々の結果」や「家庭での学習状況」を振り返り、今後の学習に役立てほしいと思います。学校でも、今後の授業や教育活動に活かしていきます。

全国学力・学習状況調査とは

全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生を対象に行われています。文部科学省や教育委員会が全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることが目的です。学校には、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められています。この調査は、「教科に関する調査」と、生活習慣や学習環境に関する「質問紙調査」で構成されています。「教科による調査」は、「知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるもの」という新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎知識と活用力を一体的に問うように構成されています。

調査結果と成果・課題等

※表内の数字は正答率

【国語】

全体としては、県と同じ程度の傾向にあります。しかし、全国と比較すると上回る傾向にあります。特に、「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」については、県や全国と比べても高い正答率となりました。

成果や課題としては、「書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができるかどうかを見る」や「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかを見る」は、県や全国と比較して高い正答率でした。しかし、「読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかを見る」は、県や全国の平均と比べると正答率が低い結果でした。

区分	本校	県平均	全国平均
(1) 言葉の特徴や 使い方に関する事項	51.1	48.3	48.1
A 話すこと・聞くこと	53.9	55.2	53.2
B 書くこと	55.7	56.0	52.8
C 読むこと	62.8	63.5	62.3

【数学】

全体としては、県と比較するどどの区分も下回る結果となりました。また、「B図形」の区分については、全国と比較すると、同じ程度の傾向になりますが、「Dデータの活用について」は、全国より上回る結果となりました。

区分	本校	県平均	全国平均
A 数と式	43.4	45.9	43.5
B 図形	46.0	49.1	46.5
C 関数	47.4	48.3	48.2
D データの活用	62.4	64.4	58.6

成果や課題として、「素数の意味を理解しているかどうかを見る」や「多角形の外角の意味を理解しているかどうかを見る」は、全国や県と比較して高い正答率でした。しか

し、「数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかを見る」や「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかを見る」は、県や全国の平均と比べると正答率が低い結果でした。

【理科】

学習指導要領は「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の4つの領域に分かれています。どの領域の正答率も、県や全国の平均数値に比べ大きく上回る結果となりました。日々の学習内容がしっかりと定着していることがうかがえ

領域	本校	県平均	全国平均
エネルギーを柱とする領域	63.6	58.6	56.1
粒子を柱とする領域	68.7	64.9	61.7
生命を柱とする領域	50.6	47.9	44.7
地球を柱とする領域	45.7	40.4	37.2

ます。特に、「身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかを見る」や「化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができるかどうかを見る」は、全国や県と比較して高い正答率でした。また、全ての項目において、全国や県の正答率と比べて下回る項目はなく、全体的に良い状況にあると思われます。

学習状況調査【生徒質問紙】から

【本校の特徴を静岡県、全国と比べて】

表1 (している、どちらかといえばしている の割合)	本校	県平均	全国平均
朝食を毎日食べていますか	92.6	92.9	91.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	92.6	82.8	81.0
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	96.6	92.9	92.6

表2 (2時間以上取り組んでいる の割合)	本校	県平均	全国平均
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	43.2	30.6	30.8
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	40.4	32.4	32.5

表3 (とてもそう思う、そう思う の割合)	本校	県平均	全国平均
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか	80.1	87.2	83.6
あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思います	92.1	93.0	91.5

表1より、生徒たちは規則正しい生活を意識して、健康的に過ごしていることがわかります。毎日の生活の基本となる生活のリズムがしっかりととしているため、学習や様々な教育活動に対して前向きな取り組みにつながっていると思われます。加えて、表2の結果からもわかりますように、平日も土日も学校の授業以外の学習時間は、全国や県の平均と比べて高い数値を示しています。また、一人一台の端末が支給され毎日の授業でICT機器を活用しておりますが、表3の結果から情報機器の処理や活用の能力も身に付いております。どの教科でも、一人一人が「主体的・対話的で深い学び」を目指して、ICT機器を効果的に活用していくってくれることを願っています。